

おおとり会だより

昭和62年11月28日発行

静岡女子短期大学

静岡女子大学

おおとり会



女子大の足跡を残すために

おおとり会会長 牛 木 琴

新幹線あるいは東名高速で往来する折、車窓から親しみ眺めた白亜の女子大は、図書館一つを残して全部取り壊され、日本平の丘陵に外壁も煉瓦タイルを張りめぐらしすっかり様変わりして、本年四月より県立大学として開学致しました。一昨年六月、小田学長の後任として女子大学に着任なさった内藤先生が、新大学の学長もご兼任での発足でした。

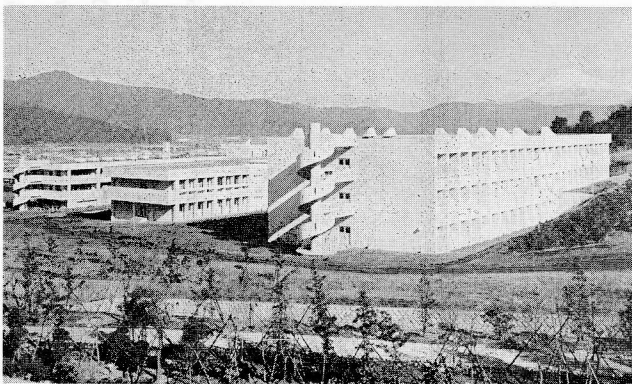
先年、県立大学の新構想が検討されていた真最中、学生の想いを中心に学内の動きや、その時点での学部編成案などを一報申し上げたことがあります。その後、ご報告の機会もつくりず打ち過ぎましたが、いよいよ昨年入学の現二回生が卒業する六十五年に、薬科大学と共に女子大の歴史は閉じられることになりました。それに関しまして、同窓会としても今までの運営の方法を改めて考え直すなくては、ということで検討しております。その様子をお知らせして皆様のお智慧を拝借し、ご協力をお願いすることも、と存じこのおしらせ号発行の運びとなった次第でございます。

昭和二十六年に創設された女子短大が、諸先生方はじめ殆んどの財産を引き継いで女子大学となった時とは確実に事情は異なり、学部形成から規模の大きさまで全て新しく、学

生自身の認識も全く新設と受け止めているようです。しかしながら、学長先生自らは、新大学は女子大の構成要素をしっかり植え継ぐことになると思う……とおっしゃっていらっしやいます。私もやはり誇りを持って新大学の発展を、母校の発展と受け止めてまいりたいと存じます。ただ、形としては女子大はなくなりません。新大学の学部構成からみて、これからの同窓会は学部ごとに編成されてゆくのではないかと見受けられますので、おおとり会後は後三回の卒業生を合わせて、甚だ閉鎖的ながら独自の運営を選んでゆかねばならないと思えます。

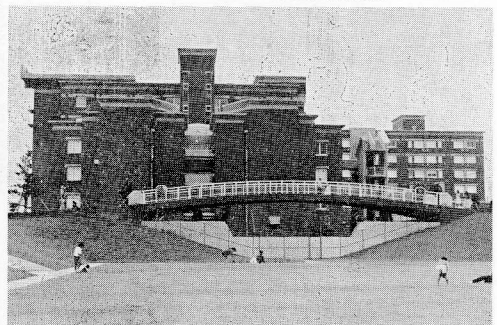
新大学に連なってゆかない、女子大がなくなるが故に、新大学の中に女子大の足跡を残し、同窓会の存在を示すものをどうしても形としてほしくてただ今交渉中でございます。

それに関しまして、私どもの想いと県側の予想とどのような形で重なり合うか、大きな形でお願ひしても果して受けとめる力が組織としてどの程度と計ることが出来るか。自他共に認識出来るよう、遅ればせながら同窓会の中を整備してみたいと思えます。近くにいらしてご協力下さる方、遠くから眺めていて下さる同窓生の熱い眼差しを感じつつ、よりよき同窓会のあり方を軌道にのせてまいりたいと存じます。



◀ 女子大 旧校舎

▼ キャンパスより 県立大を望む



おおとり会は「今」

検討委員会が発足しました

県立大学が出来たって？ 女子大がなくなるって？
同窓会は、どうなっちゃうの？ 私たちのおおとり
会は、今どう動いているのでしょうか？

おおとり会の見なおし

●同窓会会則の見なおし
会則は昭和二十八年に制定されて以来、改正されたことがない。女子大学閉学にもない大幅な改正が必要と認められ、後日、会則作成委員を決めて作業にかかる予定である。

●組織を見なおす

現在、クラス単位の一・二・六組織を一括まとめて同窓会（おおとり会）となっている。幹事会（クラス代表）の招集は年一回、総会に關して行われる。総会の企画、運営は当番幹事もちまわりであるから該当年以外は無関心になりやすい。しかし、今年は、会場も記念行事にも人気が集まり近年にみられぬ盛会であった。が、このような総会案内が届かないという同窓生もあるのだ、目づまりをなくす組織の整備が必要である。

その方向を模索して総会時を中心にアンケート調査（無作為・個人又は小集団による回答・六月）を行った。

将来像については、学科別のまりまりをつくることに對して

賛成 四六票（八二・一％）

どちらでもよい六票（一〇・七％）

反対 二票（三・六％）

わからない 二票（三・六％）

という結果がでた。これにより、

同窓会組織をより充実する方法として、まずは学科別の枠組みをつ

くることが方向づけられた。ちな

みに、食物学科は十年前に科とし

ての同窓会を結成し、会員のつな

ぎを維持している。

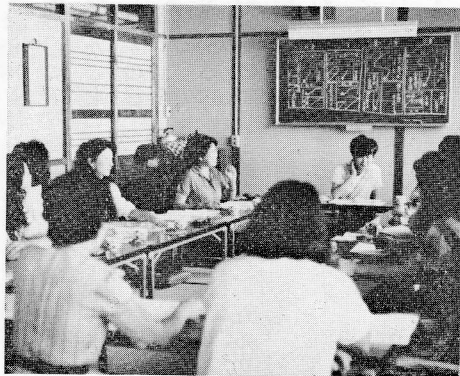
同窓会の現状と将来像

現在
クラス単位の一・二・六組織を一括
まとめて「おおとり会」となっ
ている

来
学科ごとのタテ組織をまとめ、
四学科をくくって「おおとり会」
とする



昭和六十二年六月現在



静岡の中央公民館にて

六十二年四月、静岡県立大学が開学した。女子大学の跡地を中心に、静岡市谷田と清水市草薙にまたがる十六万五千平方メートルに古代ロームを模したというキャンパスが配置され、食品栄養科学部、国際関係学部、経営情報学部、薬学部という構成（短期大学部は浜松市）で、新しい時代の要求を先取りする内容の学問と人材の養成が行われると期待されている。母校の女子大学は六十五年の春、最後の卒業生を送り出して、短大創立以来三十九年の歴史を閉じる。

「おおとり会

検討委員会」の発足

恒例のおおとり会総会を控えて四月十四日幹事会が開かれた。この時、母校女子大学の消滅と今後同窓会がどうなるかという話題がひろがり、「おおとり会の今後を考える会」をつくらうという発案が出された。県内在住者の間では女子大学がなくなる——同窓会は——の個人的関心は多々あったと思うが、これがまとまって、もろ

もろの運動のエネルギーにはならなかった。この会合で、有志による「検討委員会」をつくることが決まり、自選、他選による二十二人のメンバーが五月十四日、初会合をもった。その後、学科別構成人数のバランス等で若干の手なおしもあったが、現在は二十八名で五回の会合を重ねている。（運営のおおとり会副会長 原都子、委員長 短大一回 岩本陽子、書記 短大六回 海野とき子）検討されたあらましは次の通りである。

がりをもち、その分野での交換交流を活発に行っている。その後、国文学科は幹事会を重ねて九月中旬、国文学科同窓会を結成、被服学科は幹事の連絡網づくりの段階まですすみ、英文学科も連絡網づくりを始めている。

●クラス会の実態

組織の単位であるクラス会が、現在どんな状態かについて調査した。紙面の都合で紹介できないが一覧表を各幹事へ送付するので後日ご覧いただきたい。

県立大学卒業生は

おおとり会へ

つながるか

薬科大学および女子短大の同窓会は県立大薬学部、短期大学部へ継続されるという話である。関係図で示せば次のようになり、女子大関係は、全体としての継続は無理だろうという結論である。

(女子大学) (県立大学)
文学部 国際関係学部
国文学科 国際関係学部
英文学科 国際言語文化学科

経営情報学部
経営情報学部
食品栄養科学部
食品栄養科学部

家政学部

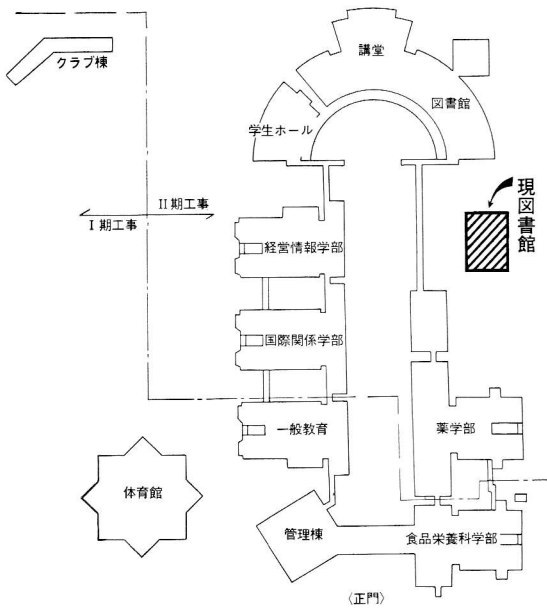
食物学科
食品栄養科学部
食品栄養科学部

栄養学科
栄養学科

被服学科

生活科学研究センター

静岡県立大学建物配置図



(薬科大学) || 薬学部
薬学部
薬学部 ↓ 薬学科
製薬学科 ↓ 製薬学科
(女子短期大学) || 短期大学部
〔学科省略〕

同窓会の拠点施設を

つくるために

「女子大学の足跡を残してほしい」と知事に要請したのが昨年十

二月。その後、女子大の建物で一ヶ所残された現図書館(新図書館は別に建てられる)を拠点施設として具備する内容の詰めと、関係筋への折衝を行っている。

拠点施設についての要望
(アンケート調査から)

- ▼拠点施設は必要である、設置を望む。
- ▼おおとり会事務局(本部の設置)
- ▼クラス会や幹事会等に使える集会室
- ▼女子大関係史・研究論文・同窓会

お悔み

中川芳雄先生(享年七十四歳)
六十二年七月二十三日御逝去
高原 博先生(享年七十九歳)
六十二年九月五日御逝去
長年の御指導に感謝し、心より御冥福をお祈り致します。

今後に向けて

- 一、組織の見なおしをふまえた同窓会充実の方向に向けて各学部が努力することが、必要である。
- 二、拠点施設の設置は同窓生の強い要望でもあり、早急に具体案を用意して関係筋へ積極的な働きかけをする。三、同窓生及び関係者にこれらの情報を伝えること。具体的には情報紙を送り、関心を高めると同時に、今後の対応についての布石としたい。

(おおとり会検討委員会

文責 岩本陽子)

狂言を堪能したひととき

二五〇余名の同窓生、総会に集う



「蝸牛」の舞台より

六月七日(日)恒例のおおとり
会総会が開かれました。すばらし
い天候に恵まれ、美しい青空と木
々の緑に囲まれた県立美術館に総
勢二五〇名余りの同窓生が集い、
美術館のホールをいっぱいにし
ました。牛木会長の挨拶に始まり、
内蘭学長のご挨拶と、この三月退
官された河村先生への記念品贈呈
つづいて出席された先生方の紹介
がされました。会計報告と今後の

おおとり会についての説明の後、
榛葉先生が「女子大の行く末」に
ついて井川ダム等を例に挙げてご
自分の心境を語られ、例年より時
間をかけた総会のセレモニーでし
た。

その後、今年企画した「狂言」
の鑑賞に入りました。演目は二題
「蝸牛」と「寝音曲」が現在「手
話狂言」等で話題になっている三
宅右近氏一行によって上演されま
した。父親(三宅藤九郎氏)譲り
の太く艶のあるよくひびく声での
熱演に、場内は笑いへと誘われ、
日本の古典芸能の良さをかみしめ
意義のあるものでした。上演後、
三宅氏一行も会場の反応の良さと
熱気に満足され、気持ち良く帰京
されました。狂言の合間には、武
山さん(大二食物)ご夫妻が琴と
尺八により「春の海」を台奏。音
色の美しさに加え、住職であるご
主人の墨染の衣姿が、一段と舞台
をすばらしいものになりました。
鑑賞後は昼食をとりながら、お
喋りに花を咲かせ、学生気分にか
えり楽しい一日を過ごしました。

(六十二年度当番幹事 原田澄子)

お知らせ

おおとり会会員名簿が
出来上りました

新しいおおとり会会員名簿が出
来上りました。一部千五百円で
す。本年度総会の折、多数お買い
求めいただきありがとうございます
でした。来年度の総会でも、販売の
予定です。ご郵送希望の方は葉書
で左記までお申込み下さい。(名簿
を販売した利益は、同窓会の貴重
な収入源となります。奮ってお買
い求め下さい)

思(い)出(の) 学(舎)

女子短大 北安東校舎



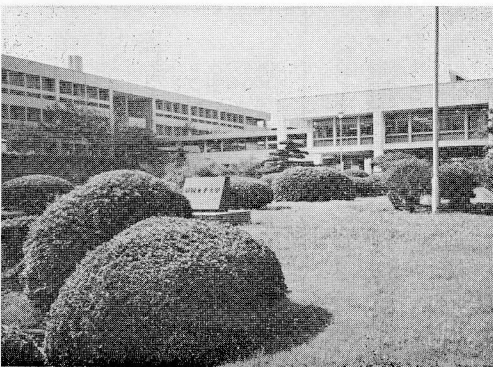
(二十六年五月〜四十二年三月)

申込先
佐藤容子(短大一〇・国文)

静岡女子大学史編集委員会が
スタートしました

静岡女子大学史編集のため、十
月一日より、静岡女子大学史編集
委員会が正式にスタートしました
閉学の六十五年三月頃、発刊の予
定です。

女子大 谷田校舎



(四十二年四月〜六十二年三月)